



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。

## 日本共産党荒川区議会議員 斉藤くに子 区政ニュース



2023年1月22日No1312号

区役所直通3802-4627  
fax3806-9246

メール:arajcp@tcn-catv.ne.jp

区議団<http://www.jcp-arakawakugidan.jp/>くに子ブログ<http://s-kuniko.jugem.jp/>



## 今年もよろしくお祈いします

時が経つのは早いもので、小正月も過ぎました。

今年の最初は「日本共産党荒川区議団ニュース」の配布となりましたので、くに子ニュースは1月22日号からとなりました。

2023年も「あなたが主演」を貫き、地域のみなさんの声も集め、議会での質問に反映させてまいります。区政・区議会の報告・地域情報のお知らせに力を尽くします。今年もよろしくお祈いします。

## 公立小中学校の給食無償化、来年度3区が実施



公立小中学校の給食無償化を葛飾区に続いて北区、品川区も来年度からの実施すると区長が表明しました。

荒川区は残念ながら、実施予定なし。これでは出遅れてしまいます。

日本共産党はこの10年間で13回も繰り返し無償化を提案してきました。区は当初は「学校給食法により保護者が負担。無償化は難しい」(2012年11月本会議答弁)

自民党も「食材費は一定自己負担が当然」

(2014年2月日本共産党条例提案での意見)との認識でしたが、2018年からは「国や東京都として実施すべき」との答弁に変わり、無償化の必要性は認めています。

もう一押しです!!荒川区も決断し、国東京都を動かそう!!実現に頑張ります。



町屋駅側のプラスワンが2月10日で閉店となります。

この地で26年間営業。食料品から衣類、生活雑貨・日用品・酒・飲料水・薬と暮らしに必要な品が揃っているお店で、閉店を惜しむ声も聞かれます。

売りつくしセール!  
10~20%OFF!!

## ★無料法律・生活相談会★

弁護士の定例相談は毎月第4月曜18時~

### 1月23日(月)

★北千住法律事務所での直接の相談予約も取ります。

★生活相談は地域相談に応じます。ご連絡ください。

荒川区荒川7-37-1(コミバス花の木停留所前)

Tel/Fax3806-5134

コロナウイルスとの関係で定例法律相談は完全予約制として密の状況をつくらないようにしたいと思います。

宜しくお祈い致します。

①18:00~18:30

②18:40~19:10

③19:20~20:00

予約は先着順とします。前日までに予約がない場合は中止します。

## 介護保険外の区独自のサービスも必要です

介護保険では「通院時の院内介助はダメ」「同居家族がいるとヘルパー利用が制限される」「庭の草取り、窓拭きはヘルパーは出来ない」「同居の高齢者の食事の準備や洗濯はできない」などの制限があります。

図書館やコンサート映画などに外出介助などは自費か家族友人に頼むしかありません。又、緊急に手助けが必要な時でも、まずは介護保険の申請が必要で間に合いません。

介護される人も家族も人間の尊厳が守られ、それまでの生活の維持のための支援を、今の介護保険では手が届かない部分について、自治体で独自サービスを提供する必要性がますます高まっています。荒川区での検討を求めたいと思います。



### 杉並区高齢者いっときお助けサービス



急な病気やケガなどで、一時的に家事援助が必要な方にホームヘルパーが訪問して家事代行等を行う。

8時から18時まで:原則1カ月間。1回の利用は基本45分。15分1単位(費用は70円)とした6単位(90分)まで。週12単位(180分)が限度。

★2021年度の利用者は45人339時間

★2022年度予算は130万円

### 杉並区ほっと一息、介護者ヘルプ

介護しているご家族の休息を目的にホームヘルパーが訪問して家事代行を行う。

年間最大24時間:8時から18時  
1回の利用は、1時間単位で6時間まで(費用は1時間300円)

★2021年度の利用は延9,664名21,798時間

★2022年度予算は7200万円



### 荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター

東部在宅高齢者通所サービスセンターでは、利用者の在宅生活継続のために本人だけでなく家族・地域も含め独自支援を実施。現在は通所利用者の方々15~20名程度が利用しているようで、郵便物のチェック・公共料金の支払・夕食(お弁当)の届けなど職員さんが通常業務の合間でお手伝いをしています。介護保険では利用できないちょっとしたお困りごとに応えるサービスとして注目です。